事業番号 2023 - 文科 - 22 - 0050

			今和5年	ま行政事業レビ <u>・</u>	チベログ	(文部科	学名)
	休 路迁動笙	を通じた書	プログート / 「サイログート / 「サイログート / 「サイログート / 「サイログェクト	支削以ず未レビ-	担当部局庁	総合教育政策局	人即行	r ナ 百
事業開始年度		· 成23年	車 娄 纹			地域学習推進課		 地域学習推進課長
	一般会計		() () () ()	十度			l	高木 秀人
根拠法令	教育基本		도 *		関係する 計画、通知等	子供・若者育成支援推進大綱(平成 経済財政運営と改革の基本方針20 人口減少時代の新しい地域づくりに	践略」(2020改訂版)(令和2年12月21日閣議 は28年2月9日子ども・若者育成推進本部決	定) 830年12月21日中央教育審議会)
政策	1 新しい時	代に向けた	た教育政策の推進					
施策	1-5 家庭•	地域の教育	育力の向上		 <u>主要経費</u>		教育振興助成	
	新型コロブ 体験活動の	トウイルス の機会を	… ・感染症の感染拡大により 充実させるための事業を写		 いて、遊びや体験の場、本等 加に関する普及啓発や調査			課題となっている。そのため、 顔彰事業を実施することによ
18 14 - 38 62	向 ^{※2} にあり 少や格差 動の教育 ※1文部科 ※2文部科	リ、子供が が生じてい 的価値の 学省「青 学省「社	「体験活動に参加する割合 いる。子供の体験活動を推 啓発等が挙げられる。 少年の体験活動に関する 会教育調査」	さも減少している ^{※3} 。また、新	新型コロナウイルス感染症として、体験活動の「量」と「))、国立青少年教育振興根	の影響により、遊びや体駅 質」の確保、体験活動の「	検の場、本物に触れる体験 利用者」と「提供者」を結び	少年教育施設や団体は減少傾 などの体験活動の機会の減 いつける仕組みの構築、体験活 元年度調査)」
	②青少年 ③安全・安 ④社会貢 年度、終了 ⑤子供た ⁷	の体験活 で心にリア 献活動の ア予定なし ちのリアル	動の推進に関する調査研ルな体験活動を行うための 一環として青少年を対象に 、)	究を実施する。(開始年度 の長期(4泊5日程度)の自 に優れた実践を行う企業を	: 平成24年度、終了予定な 然体験活動等のモデルとの 表彰し、その取組を全国に	し) なる体験プログラムを実施 広く紹介することを通して.	をする。(開始年度:令和3年 、青少年の体験活動の推	平成23年度、終了予定なし) 主度、終了予定なし) 進を図る。(開始年度:平成25 選進のための体制構築を図る
事業概要URL	_							
<u>実施方法</u>	直接実施	ⅳ、委託・割	請負					
補助率等	_							
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
			当初予算(A)	27	69.6	72.1	78.7	104.5
			補正予算(B)	453.8	-	-	-	
							-	
							_	
							<u> </u>	
	予算の 状況						-	
予算額•	1人)兀						-	
執行額 (単位:百万円)	-	前年	F度から繰越し(C)	-	-	-	_	-
(インプット)	-	 翌:	年度へ繰越し(D)	-	_	_	_	
	-		予備費等(E)	_	_	_	_	
	-		計(F)	480.8	69.6	72.1	78.7	104.5
			+(B)+(C)+(D)+(E)				76.7	104.5
			行額(G)	449.2	57.6	62.7		
			亍率(%) (G)/(F)	93%	83%	87%		
	当初予算	割	予算に対する執行額の 合(%) [/] {(A)+(B)}	93%	83%	87%		
			予算項•目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	±	な増減理由(・要望額・	予備費)
	(項)		教育政策推進費					機関の連携体制構築のた 推進体制の構築に必要な
		(目)	教育政策推進事業委託費	53.5	78	経費等の増額要求	& NU JA JU 1 - プログラス1 〜 031 J 〜0	,是是1770年末1~20年,
令和5•6年度		(目)	庁費	23.2	24			
予算内訳 (単位:百万円)		(目)	職員旅費	1.0	1	1		
(TE: H7511)		(目)	委員等旅費	0.6	0	1		
		(目)	諸謝金	0.4	0	-		
			その他	70.7	0	-		
	I	Ī	計(A)	78.7	104.5			

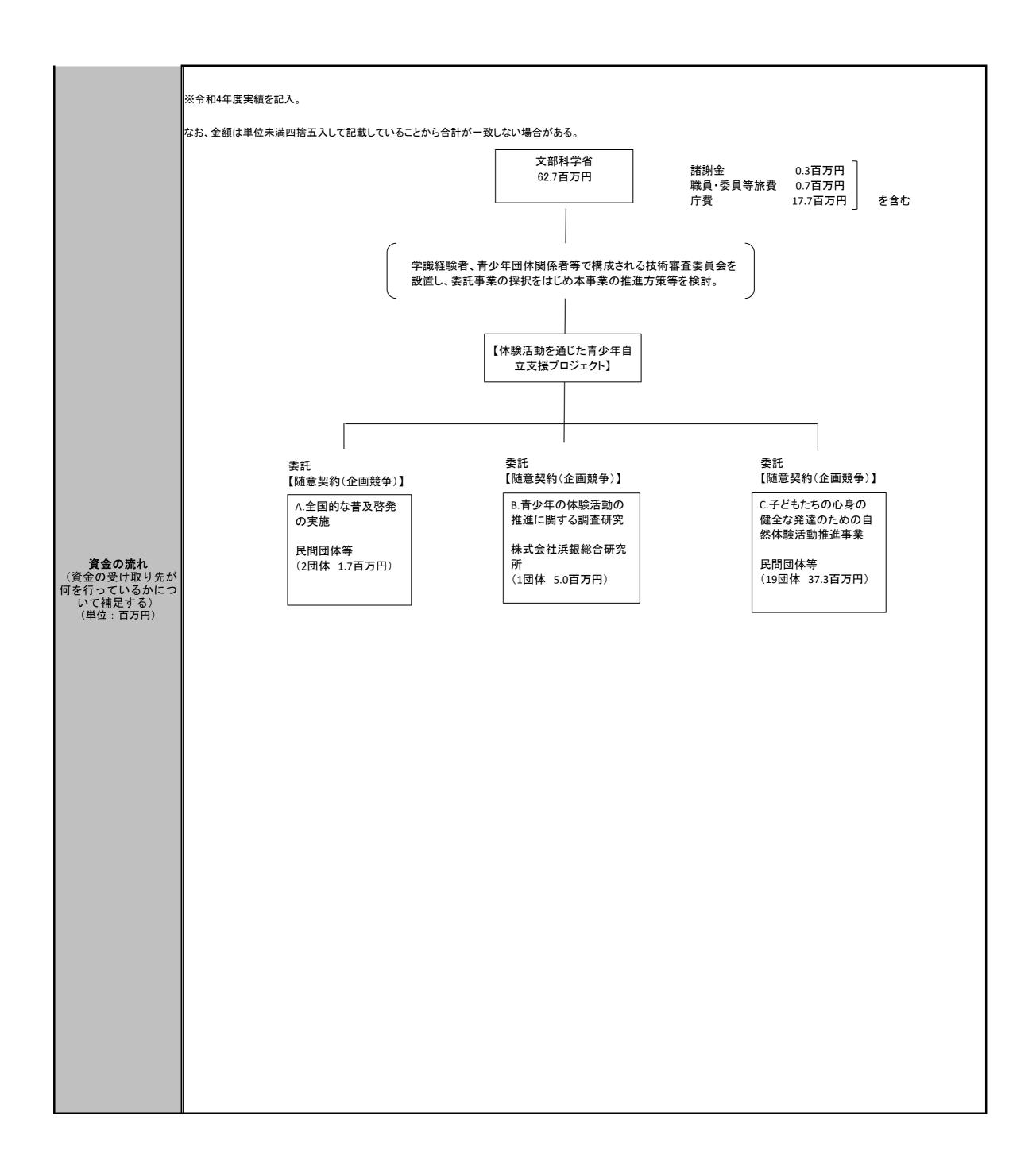
	・動内容① クティビティ)	世るための普及啓発事業を実施する。	R庭や企業、社会教育団体、青 <u>イ</u>	少年指導者	寺か、体 馬	東沽動への埋削	¥を求めていく)	こめのフォーフ	ムなど、 体 験》	ロ刧守で足虐
	1									
5動日:	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	(1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	家庭や企業等に対する体験活動の理解	普及啓発事業の参加者数	活動実績	人	515	328	207	-	-
	·// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	を深めるための普及	自及合先事業の参加有数	当初見込み	人	336	515	328	515	_
l	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	体験活動の理解を深めるための普及啓覚め、下記の短期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アク効果として発現するものとなっている。								
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	栗年度
果目	標及び成果実績 ①-1	ルトンストン・ストゥー・エー	 調査において、学校の授業や	成果実績	%	-	-	-		_
(短其	胡アウトカム)	体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト活動に関する保護者の意識の	行事以外では、体験活動をできる機会が十分にある(とても	目標値	%	_	_	-		_
		向上	思う、少し思う)と回答した割合	達成度	%	-	-	-		_
	ウなアウトカムに でる成果実績	元年度実績は、46%。		××++->•		Eデータなし。 か		277 216 [34]		
関す	りなアウトカムに		験活動の重要性を認識すること	:で、子供の	体験活動	への参加に積	亟的になるため)、下記の短期	アウトカムを記	设定した。
関す	ウなアウトカムに 一る成果実績 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム	元年度実績は、46%。 事業の実施により、参加した保護者が体 ※本事業による効果の発現経路は、アク	験活動の重要性を認識すること	:で、子供の	体験活動	への参加に積	亟的になるため)、下記の短期	アウトカムを記 いてもアウトコ	设定した。 プット①~④ 最終年度
関 す	ウなアウトカムに 一る成果実績 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム	元年度実績は、46%。 事業の実施により、参加した保護者が体 ※本事業による効果の発現経路は、アク 効果として発現するものとなっている。	験活動の重要性を認識すること ティビティ①~④が相互に作用	:で、子供の	体験活動	への参加に積れ現するものとな	亟的になるため ○っており、成果)、下記の短期	アウトカムを記 いてもアウトコ	设定した。 プット①~④ 最終年度
製 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ウなアウトカムに つる成果実績 成果目標①-2の 設期アウトカム からのつながり)	元年度実績は、46%。 事業の実施により、参加した保護者が体 ※本事業による効果の発現経路は、アク 効果として発現するものとなっている。	験活動の重要性を認識すること ティビティ①~④が相互に作用	で、子供の して各アウト 成果実績	体験活動・カムが発	への参加に積れ現するものとな	極的になるため つており、成果 令和3年度)、下記の短期 は目標①-1につ 令和4年度	アウトカムを記 いてもアウトコ	设定した。 プット①~④ 最終年度
↓	内なアウトカムに 一る成果実績 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	末の実施により、参加した保護者が体 ※本事業による効果の発現経路は、アク 効果として発現するものとなっている。 成果目標	験活動の重要性を認識すること ティビティ①~④が相互に作用 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する	で、子供のして各アウト	体験活動 ·カムが発 単位 %	への参加に積れ 現するものとな 令和2年度	動的になるためつており、成果令和3年度-)、下記の短期 は目標①-1につ 令和4年度 -	アウトカムを記 いてもアウトコ	设定した。 プット①~④ 最終年度
男 · 果 · 果 · 果根計性 · 果根計性	ウトカ積 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	末の実施により、参加した保護者が体 ※本事業による効果の発現経路は、アク 効果として発現するものとなっている。 成果目標	験活動の重要性を認識すること ティビティ①~④が相互に作用 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合 を」(独立行政法人国立青少年教 計標としているため、令和2年度	で、子供の して各アウト 成 目 達 成 果 値 度 文育版降につい	体験活動 かカムが発 単位 % % %	への参加に積れ 現するものとな 令和2年度 - - -	極的になるため つており、成果 令和3年度 - - -	う、下記の短期 引標①-1につ 令和4年度 - - -	アウトカムを討いてもアウトフ	设定した。 プット①~④
● ◆ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内な成果 目標理 () - 2の () からのの () に を) では、	正年度実績は、46%。 事業の実施により、参加した保護者が体 ※本事業による効果の発現経路は、アク 効果として発現するものとなっている。 成果目標 体験活動に参加する子供が増加 「青少年の体験活動等に関する意識調査 ※本調査は2~3年に1度実施する調査を	験活動の重要性を認識すること ティビティ①~④が相互に作用 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合	で、子供の して各アウト 成 目 達 成 果 値 度 文育版降につい	体験活動 かカムが発 単位 % % %	への参加に積れ 現するものとな 令和2年度 - - -	極的になるため つており、成果 令和3年度 - - -	う、下記の短期 引標①-1につ 令和4年度 - - -	アウトカムを討いてもアウトフ	設定した。 プット①~④ と終年度 - 年 -
サイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がなアウトカ積 成果 1 標理ウトかが リントカ (短期のつかががり) は 果実 (動力のの は がらのの が がり が で で で で で で で で で で で で で で で で	正年度実績は、46%。 事業の実施により、参加した保護者が体 ※本事業による効果の発現経路は、アク 効果として発現するものとなっている。 成果目標 体験活動に参加する子供が増加 「青少年の体験活動等に関する意識調査 ※本調査は2~3年に1度実施する調査を	験活動の重要性を認識すること ティビティ①~④が相互に作用 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合 を」(独立行政法人国立青少年教 計標としているため、令和2年度	で、子供の 大子 で、子供の 大子 アウト 大子 アウト 大子 アウト 大子 東値 度 大き 大き 大	体験活動 かカムが発 単位 % % %	への参加に積れ 現するものとな 令和2年度 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	極的になるため つており、成果 令和3年度 - - - で つ で つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	う、下記の短期 引標①-1につ 令和4年度 - - -	アウトカムを討いてもアウトフ	设定した。 プット①~④

②-1 (短期アウトカム) 体験活動への参加意欲の向上 体験活動への参加意欲の向上 体験活動への参加意欲の向上 体験活動への参加意欲の向上 体験活動への参加意欲の向上 体験活動への参加意欲の向上 体験活動への参加意欲の向上 基皮度 %		舌動内容②		700 区别(中旧0日往及/00日旅)	119/11/20		となる体験ノロ	グラムの実施			
### 1891年後に活動実績 (プウトプリト) 自然体験活動等のモデル事業の増加 (アウトプリト) 自然体験活動等のモデル事業の増加 (アウトプリト) 自然体験活動等は (アウトプリト) 自然体験活動等は (アウトプリト) 自然体験活動等のモデル事業の増加 (アウトプリト) (アウトプリー) (アウトプリト) (アウトプリト) (アウトプリト) (アウトプリト) (アウトプリト) (アウトプリト) (アウトプリー) (アウトプリ		<u> </u>									
(アウトブット) 自然体能活動等のモデル事業の地加	C # 1. 1.1	▼ 	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業数		2			活動実績	 事業	99	41	19		一 一 一
要素理者。 (アウ・アウ・ からのではが) ※本事末による効果の発現経路は、アウティビティ①~含が相互に作用して各アウト力ムが発現するものとなっており、成果目標②・ICOUでもアウトブット①~含が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標②・ICOUでもアウトブット①~含が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標②・ICOUでもアウトカム・	(7	アウトブット) 	目然体験活動等のモテル事業の増加 		当初見込み	事業	366	63	24	24	-
東目権及び成果実績	↓	設定理由 (アウトプット	※本事業による効果の発現経路は、アク								
(短期アウトカム)			成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	栗年度
保験活動への参加意欲の向上 体験活動への参加意欲度 目標値 96	果目				成果実績	%	-	-	-		
#集実績及び目標値の 機能として用いた。 流来目標で20 設定理画 (風第7つトカムに が6のつながり) 3の効果として発現するものとなっており、参加意欲が向上した子供が次の体験活動へと参加すると考えるため、下記の長期アウトカムを設定した。 3の効果として発現するものとなっている。 (最期アウトカム からのつながり 3の効果として発現するものとなっている。 (長期アウトカム を選目標及び成果実績 (長期アウトカム) (長期アウトカム) (長期アウトカム (長期アウトカム (長期アウトカム) (長期アウトカム (長期アウトカム) (長期アウトカム) (長期アウトカム (長期アウトカム) (日間アウトカム) (日間アウト	(短		体験活動への参加意欲の向上	体験活動への参加意欲度	目標値	%	-	-	-		_
機能上して用いた。 議計・データ名(出典) ※新たな短期アウトカムの設定により、令和6年度事業より当該事業の参加者に対し、一律でアンケート調査を実施する。 「農業目標2-20 設定報酬 (製用) 200 対象 (製作)					達成度	%	-	-	-		_
東目標及び成果実績	定性的	的なアウトカムに	※新たな短期アウトカムの設定により、令	3和6年度事業より当該事業の参	がかった かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	、一律で	アンケート調査	を実施する。 			
②-3 (長期アウトカム) (長期アウトカム) 学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合 行事に参加した子供の割合 行事に参加した子供の割合 (再掲】 「日標値 %	定性的	的なアウトカムに する成果実績 成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム	長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク	加意欲が向上した子供が次の位	本験活動へ	と参加する	ると考えるため、	、下記の長期で		いても短期ア	
(長期アウトカム) 体験活動に参加する子供が増加[再掲] 行事に参加した子供の割合 目標値 96	建性	的なアウトカムに する成果実績 成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている	加意欲が向上した子供が次の(ティビティ①~④が相互に作用し。	本験活動へ	と参加するカムが発	ると考えるため、 現するものとな 	、下記の長期で	- Tender	いても短期ア	是終年度
果実績及び目標値の 根拠として用いた 診計・データ名(出典) 定性的なアウトカムに 関する成果実績 「青少年の体験活動等に関する意識調査」(独立行政法人国立青少年教育振興機構) ※本調査は2~3年に1度実施する調査を指標としているため、令和2年度以降については現在データなし。次回(令和4年度)データは令和5年度内に公表予定。令 元年度実績は、50%。 アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由	定性 関 果 目	的なアウトカムにする成果実績 成果目標②-2の設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている	加意欲が向上した子供が次の位 ティビティ①~④が相互に作用し 。 定量的な成果指標	本験活動への	と参加する カムが発 単位	ると考えるため、 現するものとな 令和2年度	、下記の長期で	- Tender	いても短期ア	是終年度
根拠として用いた 於計・データ名(出典) 定性的なアウトカムに 関する成果実績 アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由 アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由	建	的なアウトカムにする成果実績 成果目標②-2の設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている 成果目標	加意欲が向上した子供が次の位 ティビティ①~④が相互に作用し 。 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合	本験活動へ、て各アウト	と参加する カムが発 単位 %	ると考えるため、 現するものとな 令和2年度 -	、下記の長期でつており、成果令和3年度	全目標②-3につ 令和4年度 -	いても短期ア	是終年度
ウトカム設定について	上	的なアウトカムにする成果実績 成果目標②-2の設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている 成果目標	加意欲が向上した子供が次の位 ティビティ①~④が相互に作用し 。 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合	本験活動へたて各アウトの成果実績目標値	と参加する カムが発 単位 % %	ると考えるため、 現するものとな 令和2年度 - -	、下記の長期で つており、成果 令和3年度 - -	中標②-3につ 令和4年度 - -	いても短期ア	最終年度 - 年 - -
の説明	定 果 《果根計性性質》 果 《果根計性	的なアウトカ (な) 大力 (長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている 成果目標 体験活動に参加する子供が増加【再掲】 「青少年の体験活動等に関する意識調査 ※本調査は2~3年に1度実施する調査を	加意欲が向上した子供が次の位 ティビティ①~④が相互に作用し 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合 【再掲】	本験活動への成果実績を関係機構を対象を表す。	と参加する カムが発 単位 % %	ると考えるため、 現するものとな 令和2年度 - - -	、下記の長期で つており、成果 令和3年度 - - -	中標②-3につ 令和4年度 - - -	いても短期ア	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と
アクティヒティ©についてアウトカムが複数設定できない理由 -	定	的なアウトカ (な) 大力 (長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている 成果目標 体験活動に参加する子供が増加【再掲】 「青少年の体験活動等に関する意識調査 ※本調査は2~3年に1度実施する調査を	加意欲が向上した子供が次の作 ティビティ①~④が相互に作用し 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合 【再掲】	本験活動への成果標値度で表際にできまれる。	と参加する カムが発 単位 % % %	ると考えるため、 現するものとな 令和2年度 - - -	、下記の長期で つており、成果 令和3年度 - - -	中標②-3につ 令和4年度 - - -	いても短期ア	長終年度 - 年 - -
	定	的な成 成 短短的の 成 短短的の 成 果設期のつなががりり 大 書き取すっなががりり で スクートががりり で スクートでな成 で スクートの で スクートががりました。 で スクートがの で スクートがの で スクートがの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートを で スクートがりる。 で スクートがりました。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりりる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりを スクートがりを スクートがりを スクートがり スクートがりを スクートがりを スクートがり スクートがりを スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがりを スクートがり スクートがりを スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり	長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている 成果目標 体験活動に参加する子供が増加【再掲】 「青少年の体験活動等に関する意識調査 ※本調査は2~3年に1度実施する調査を	加意欲が向上した子供が次のはティビティ①~④が相互に作用した。 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する行事に参加した子供の割合 【再掲】 (独立行政法人国立青少年教指標としているため、令和2年度	本験活動への大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	と参加する カムが発 単位 % % いては現在 はアウトカム	ると考えるため、 現するものとな 令和2年度 - - - -	、下記の長期で つており、成果 令和3年度 - - -	中標②-3につ 令和4年度 - - -	いても短期ア	長終年度 - 年月 - -
	定	的な成 成 短短的の 成 短短的の 成 果設期のつなががりり 大 書き取すっなががりり で スクートががりり で スクートでな成 で スクートの で スクートががりました。 で スクートがの で スクートがの で スクートがの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートの で スクートを で スクートがりる。 で スクートがりました。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりりる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりる。 で スクートがりまる。 で スクートがりまる。 で スクートがりる。 で スクートがりを スクートがりを スクートがりを スクートがり スクートがりを スクートがりを スクートがり スクートがりを スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがりを スクートがり スクートがりを スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり スクートがり	長期自然体験活動モデル事業により、参 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている 成果目標 体験活動に参加する子供が増加【再掲】 「青少年の体験活動等に関する意識調査 ※本調査は2~3年に1度実施する調査を	加意欲が向上した子供が次のはティビティ①~④が相互に作用した。 定量的な成果指標 学校以外の自然体験に関する行事に参加した子供の割合 【再掲】 (独立行政法人国立青少年教指標としているため、令和2年度	本験活動への大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	と参加する カムが発 単位 % % いては現在 はアウトカム	ると考えるため、 現するものとな 令和2年度 - - - -	、下記の長期で つており、成果 令和3年度 - - -	中標②-3につ 令和4年度 - - -	いても短期ア	長終年度 - 年原 - -

	5動内容③ ククティビティ)	企業が社会貢献活動の一環として実施し	た優れた実践に対して表彰し、	その取組を	全国に広	く紹介すること	で青少年の体	験活動の推進	を図る。	
	Ţ									
壬動日	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	3	体験活動推進に取り組む企業の増加	青少年の体験活動推進企業 表彰への応募数(前年度以	活動実績	社	54	52	55	_	-
	· · / ۲ / ۳ / ۱		上)	当初見込み	社	48	54	52	55	-
↓	設定理由 (アウトプット からのつながり)	社会貢献活動の一貫として青少年の体験等(提供者)が増えることが考えられるた ※本事業による効果の発現経路は、アク 効果として発現するものとなっている。	め、下記の短期アウトカムを設え	定した。						
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	票年度 - 年度
	標及び成果実績 ③-1			成果実績	社	-	-	-		_
(短		体験活動の機会を利用・提供する団体 の増加	ポータルサイトの登録企業数	目標値	社	-	-	-		_
				達成度	%	-	-	-		_
ļ	設定理由 (短期アウトカム	企業の体験活動表彰を行うことにより、なるため、下記の長期アウトカムを設定した ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている	こ。 ディビティ①~④が相互に作用!						いても短期ア	ウトカム①~
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標園	最終年度 │ − 年度
果目	標及び成果実績 ③-3		学校以外の自然体験に関する	成果実績	%	-	-	-		-
(長	期アウトカム)	体験活動に参加する子供が増加【再掲】		目標値	%	-	-	-		_
			【丹均】	達成度	%	_	-	_		_
根拠 統計• 定性的	データ名(出典)	「青少年の体験活動等に関する意識調査 ※本調査は2〜3年に1度実施する調査を 元年度実績は、50%。				Eデータなし。 次	(回(令和4年度	₹)データは令和	回5年度内に公	☆表予定。令₹
			アクティビティ③につい	いて定性的な	ジアウトカ.	ムを設定してい	る理由			
アウトカ	ル設定について の説明	_	アクティビティ③につ	いてアウト	カムが複数	数設定できない	理由			
		_								

	5動内容④ アクティビティ)	子供たちのリアルな体験の機会充実のだ	こめ、体験活動の推進に取り組む	企業や教	育機関等(の連携促進のカ	ため、体制構築	を図る。【令和	15年度より実放	也】
	1									
活動目	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見辺
	4	体験活動推進のため、システムの構築	ポータルサイトに掲載した体験	活動実績	件	-	_	_	_	-
		THE STREET STREET	活動のプログラム数 	当初見込み	件	-	_	-	-	-
↓	設定理由 (アウトプット からのつながり)	ポータルサイトの構築により、企業や団体思う学校や団体等(利用者)も増えること ※本事業による効果の発現経路は、アク効果として発現するものとなっている。	が考えられるため、下記の短期	アウトカムを	設定した					
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	票年度 - 年
	標及び成果実績 ④-1		10	成果実績	団体	-	-	-		-
(短		体験活動の機会を利用・提供する団体 の増加	ポータルサイトへの登録団体 等数	目標値	団体	-	_	_		_
				達成度	%	_	_	-		_
J	設定理由(短期アウトカム	体験活動推進のためにポータルサイト構のマッチングが増えることになるため、体 ※本事業による効果の発現経路は、アク ③の効果として発現するものとなっている	験活動の機会の提供が増加する フティビティ①~④が相互に作用し	ることにつな	ネがり、本ヨ	事業による効果	見を測定するた	めに下記の長	期アウトカムを	おました。
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	日標重	最終年度 - 年
	標及び成果実績 ④-3		学校以外の自然体験に関する	成果実績	%	-	_	_		-
(長	朝アウトカム)	体験活動に参加する子供が増加【再掲】		目標値	%	-	_	_		_
			[一	達成度	%	-	_	-		_
根拠統計・ 統計・	データ名(出典)	学校以外の自然体験に関する行事に参 ※本調査は2〜3年に1度実施する調査を 元年度実績は、50%。		『以降につい	ヽては現石	Eデータなし。 タ	マ回(令和4年度	₹)データは令ネ	和5年度内に公	≿表予定。令
			アクティビティ④につし	て定性的な	なアウトカ	ムを設定してい	る理由			
アウトカ	ム設定について	_								
アウトカ	ム設定について の説明	_	アクティビティ④につ	いてアウト	カムが複	数設定できない	\ 理由			

	名称																			
事業に関連する PIが定められて	URL	_																		
いる閣議決定等	該当箇所	_																		
							事業所領	き部局(こよる点	検・改善										
							213,000					口捶左	申にも	ルスカ		シェミ	スシス	(今 和)		2 t/c \
			ノロラ彫幼	い亡の成功	÷+11	1 主小人	エの口帯	上江 1	トハナ・	ᄨᆥᅛᄼᅡᄧ		日保干	及にの	1) るX	小 未测火	- 〜 关 9	る評価(THU	'干及天	・加心)
		新型コロナウ場、本物に触	れるなどの)体験活動	の機会の流	咸少や枠	啓差が課	題となっ	ているが	、感染防」	上に									
点検結男	₽.	十分留意したの取組が広く	実施された	<u>:</u> 。一方で、	新型コロフ	ナウイル	ス感染症	の影響	により、イ	本験活動の	り実施									
		事業数は大き対効果・教育	的効果が高	い事業の	実施に努る	めつつ、	本事業0	り参加に	加え各種	重機関との										
		を図りながら	す少年の14	、 いい いい いい にいい にいい にいい にいい にいい	幾会か孤り	允される	よう、一川	曽の土ヲ	たか必要	である。										
改善の		・アクティビテ ・アクティビテ												に取り	組む。					
方向性		・アクティビテ	13につい	て、より多	の企業に	参加して	てもらうた	め、表幹	がロゴの	た成や新た	とな表彰	メニュー	たつい	て検討	する。					
							外	部有識	者の所	見										
部有識者によん	る点検対	象外																		
										に至る過										
事業内容の一	部改善	この事業はお下していること	おむね計画 から、その	画通りに執)要因分析	行されたも を行うとと	のと考え もに、事	えられるが 業スキー	が、体験 -ムの見	活動の 直し、活	事業実施数 動指標の B	な増加 目標値の	させると D設定に	いう活動 ついて	助目標(も再検	は達成し 正し段階	ておらず 的な指標	達成度に を設定す	ついても	前回より ある。)低
										こおける原				,- 1,					•	
執行等改	善善善	事業成果の過るアンケート等	切な把握	及び達成原義務付ける	の要因分	が析のた - 。それ.i	めに、令	和5年度 も活用I	に成果技	指標の目標 事業成里 <i>(</i>	標値の見 の適切な	直しを行な把握・	か、令	和6年月	まより事業	業者に対	して、参加	旧者の満	足度等を	図
			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							レビュー)				,,,,,,,						
		_																		
								上記へ	の対応	 伏況										
								上記へ	の対応	 伏況										
ᄝᆂᇅᅑᄼᆉᆉ	2体事情	_						上記へ	の対応	 伏況										
過去に受けた指 と対応状		_																		
		_							の対応:											
		_																		
		-																		
		_																		
		_						その他	の指摘	事項										
								その他		事項										
								その他	の指摘	事項										
		-						その他	の指摘	事項										
		_						その他	の指摘	事項										
								その他	の指摘	事項										
								その他	の指摘の対応に	事項										
と対応状	记	-				関連		その他	の指摘の対応に	事項	番号									
で成23年度 平成23年度	0310/新	- 23-0064				関連		その他	の指摘の対応に	事項	香号									
平成23年度 平成24年度	0310/新 0331	- 23-0064				関連		その他	の指摘の対応に	事項	番号									
平成23年度 平成24年度 平成25年度	0310/新	- 23-0064				関連		その他	の指摘の対応に	事項	香号									
平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度	0310/新 0331 0064	- 23-0064				関連		その他	の指摘の対応に	事項	香号									
平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度	0310/新 0331 0064 0068	- 23-0064				関連		その他	の指摘の対応に	事項	番号									
平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度	0310/新 0331 0064 0068 0066	- 23-0064				関連		その他	の指摘の対応に	事項	等号									
平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成27年度 平成28年度	0310/新 0331 0064 0068 0066 0068	- 23-0064				関連		その他	の指摘の対応に	事項	番号									
平成23年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成27年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	0310/新 0331 0331 0064 0068 0066 0068			0040		関連		その他	の指摘の対応	事項	5号									
平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	0310/新 0331 0064 0068 0066 0068 0071 73	省 -		0040		関連		その他	の指摘の対応	事項	香号									
平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	0310/新 0331 0331 0064 0068 0066 0068 0071 73 文部科学	省 -	20			関連		その他	の指摘の対応	事項	香号									



		A.			B.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	Г		7	諸謝金	検討委員謝金	0.1
		100万円未満のため省略		印刷製本費	事例集作成	0.2
	ᆫ			人件費	事務補助	3.6
				雑役務費		0.6
# - 44				一般管理費		0.5
費目・使途 (「資金の流れ」において	計			計		5
ブロックごとに最大の金額が支出されている者に		C.			D.	
ついて記載する。費目と使途の双方で実情が分	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	諸謝金	事業補助指導者、講師	2.4			
	消耗品費	事業に必要な物品の購入	0.2			
	印刷製本費	募集チラシ印刷代	0.1			
	通信運搬費	募集チラシ配送料	0			
	借損料	バスレンタル代	0.7			
	人件費	事務作業	0.3			
	雑役務費	振込手数料	0			
	計		3.7	計		
	費目・使途欄(こついてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別	紙2]に記載		チェック	

支出先上位10者リスト

7 エフ・オー・イー・ジャパン

里体験観光協会

び喜び総合研究所

一般社団法人神奈川大井の

9 特定非営利活動法人野外遊

10 独立行政法人国立青少年教育振興機構

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人ボーイスカウト 日本連盟	9010005017765	青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業などへ体験活動の理解を求める 普及啓発活動の実施	0.9	随意契約(企画 競争)	7	100%	-
2	, 独立行政法人国立青少年教育振興 - 機構	8011005001124	青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業などへ体験活動の理解を求める 普及啓発活動の実施	0.7	随意契約(企画 競争)	7	100%	-
В								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社浜銀総合研究所	1020001015795	事例から課題と効果を考察し、体験活動の質を高めるデジタル技術活用の在り方・考え方をとりまとめる。	5	随意契約(企画 競争)	2	100%	-
С								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	支 出 先 特定非営利活動法人チャウス	法 人 番 号 2070005009284	業務概要 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。		契約方式等 随意契約(企画 競争)		落札率	競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
			知見を活用し、特に教育効果の高い長期	(百万円)	随意契約(企画	(応募者数)		競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
	特定非営利活動法人チャウス	2070005009284	知見を活用し、特に教育効果の高い長期 の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期	(百万円)	随意契約(企画競争) 随意契約(企画競争)	(応募者数) 	100%	競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
3	特定非営利活動法人チャウス 公益財団法人日本YMCA同盟 特定非営利活動法人埼玉県キャ	2070005009284 9011105005321	知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。	(百万円) 3.7 3.5	随意契約(企画 競争) 随意契約(企画 競争) 随意契約(企画	29	100%	競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
3	特定非営利活動法人チャウス 公益財団法人日本YMCA同盟 特定非営利活動法人埼玉県キャンプ協会 ぶらっとほーむ実行委員会 公益財団法人ぐんまYMCA	2070005009284 9011105005321	知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。	(百万円) 3.7 3.5	随意契約(企画競争) 随意契約(企画競争) 随意契約(企画競争) 随意契約(企画競争)	29 29	100% 100% 100%	競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
3	特定非営利活動法人チャウス 公益財団法人日本YMCA同盟 特定非営利活動法人埼玉県キャンプ協会 ぷらっとほーむ実行委員会	2070005009284 9011105005321 3030005001789	知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。 知見を活用し、特に教育効果の高い長期の自然体験活動を実施する。	(百万円) 3.7 3.5 3.2	随意契約(企画競争) 随意契約(企画競争) 随意契約(企画競争) 随意契約(企画競争) 随意契約(企画競争)	(応募者数) 29 29 29 29	100% 100% 100%	競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)

知見を活用し、特に教育効果の高い長期

知見を活用し、特に教育効果の高い長期

知見を活用し、特に教育効果の高い長期 の自然体験活動を実施する。

知見を活用し、特に教育効果の高い長期 の自然体験活動を実施する。

の自然体験活動を実施する。

の自然体験活動を実施する。

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

9013305000754

6021005011553

7012405000641

8011005001124

競争) 随意契約(企画

競争)

随意契約(企画

競争)

随意契約(企画

随意契約(企画

競争)

競争)

2.5

1.9

1.9

1.9

29

29

29

29

100%

100%

100%

100%

チェック